

1. 本誌に投稿できる者として、筆頭筆者は、(一社) 日本運動・スポーツ科学学会会員および投稿する該当年度までの年会費を完納したものに限る。ただし、共著者および「スポーツと開発」編集委員会が掲載を依頼した場合にはこの限りではない。
2. 投稿論文内容は、「スポーツと開発」の研究領域に関するもの(スポーツを通じた、教育、保健、平和、復興、難民、ジェンダーなどの開発および国際協力や社会貢献活動に関すること)とし、総説、原著論文、研究報告、事例報告とする。投稿論文は未発表のものであり、他誌に投稿中でないものに限る。ただし、学会大会や分科会大会における口頭・ポスター発表・各種研究助成を受けた報告を充実させた論文は後に投稿できる。また、論文は和文でも英文でも可とする。ただし、英文で投稿する場合、英語校正証明書を別途添付する。
3. 投稿論文の作成に際して、被験者や被経動物の取り扱いについては、人権擁護・動物愛護の立場から十分注意し、実際に配慮した点を論文中に明記するとともに、所属機関等の倫理委員会の承認を得ることを原則とする。
4. 投稿論文の掲載は、「スポーツと開発」編集委員会において決定する。
5. 論文投稿はメール投稿とする。原稿は、ワードプロセッサで11ポイントの活字、A4版横書き、上下左右に3cmの余白を取り、1頁全角40字×30行とする。フォントは、和文は「MS明朝」、英数字は「Times New Roman」とする(ただし、見出し語は、和英数字全て「MSゴシック」とする)。また、本文はひらがな現代かなづかいとする。外国語をかな書きにする場合は、カタカナ(全角)にする。なお、英文原稿および和文原稿内の英文綴り・数値は半角とする。
6. 投稿原稿の1頁目に、(1) 論文タイトル(和文および英文)、(2) 論文種別(総説、原著論文、研究報告、事例報告のいずれか)、(3) 全ての著者名(和文および英文)、(4) 全ての著者の所属先および同所在地の住所(和文および英文)、(5) 責任著者のE-mailアドレスおよび電話番号、を記す。2頁目以降に、(1) 論文タイトル(和文および英文)、(2) 論文種別(総説、原著論文、研究報告、事例報告のいずれか)、(3) 和文抄録・和文キーワード、(4) 英文抄録・英文キーワード、(5) 本文、を記す。英文抄録は300語以内とし、英文校正証明書を別途添付する。また、和文抄録は600文字以内とし、原則英文抄録の和訳とする。なお、2頁目以降には、頁毎に行番号を入れ、頁下部中央に頁番号をつける。その際、1頁には頁番号を記載せず、2頁目に「1」の番号が記載されるようにする。
7. 計量単位は、原則として国際単位系(SI)とする。
8. 挿図原稿・写真はカラーもしくは白黒の鮮明な画面のものとする(写真原稿は、画素数が300dpiとする)。
9. 図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルおよび説明文(Figure Legends)をつける。なお、

挿図原稿・写真・図・表は、本文内の該当箇所に、希望する大きさに挿入する。

10. 文献は、原則として本文の最後に引用順に一括し、本文中の右肩か著者名の右肩に末尾の文献出典記載に対応する文献番号をつける。文献の記し方は、『『スポーツと開発』投稿の手引き(電子発行版)』を参照する。
11. 投稿論文は、随時受け付ける。毎年度2月末日までに採択が決定した論文を、当該年度末(3月31日)発刊の雑誌に掲載する。査読の進行次第ではあるものの、当該年度末発刊の雑誌への掲載を目指すのであれば、目安として、9月末日までに投稿することが求められる。
12. 投稿原稿における掲載の可否は、査読審査をした後、「スポーツと開発」編集委員会が決定する。
13. 投稿論文は「スポーツと開発」編集事務局への投稿日を受付日とし、「スポーツと開発」編集委員会による掲載承認日を受理日とする。編集者が、指定された返送期日を超過しても修正原稿を提出しない、あるいは連絡がない場合には取り下げたものとみなす。
14. 査読は原則2回までとする。ただし、査読後の再提出論文に対して、査読コメントに対して適切な修正がなされていない場合に限り、査読が3回以上行われることや、「スポーツと開発」編集委員会がさらに修正の指示をすることがある。
15. 掲載論文の著者校正は初校のみの1回とする。
16. 本誌はWeb発行であるため、別刷りの申込みは設けない。
17. 投稿料は設けないものとする。
18. 本誌に掲載された論文の著作権は、(一社)日本運動・スポーツ科学学会 国際健康・スポーツ分科会に帰属するものとする。ただし、論文の内容に関する責任は当該論文の著者が負う。

<令和3年8月30日制定>

<令和4年4月1日改正>

<令和5年4月1日改正>